

「マンションのまちの防災まちづくり」 パネル & ミーティング

2026

9/13

SUN

14:00-16:00

Panelists

高柳 章二

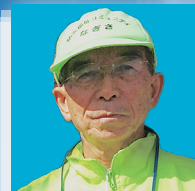
神戸市中央区港島自治連合協議会
港島地区防災対策委員会 委員長

門脇 龍三

神戸市灘区 (HAT 神戸)
なぎさふれあいのまちづくり協議会 委員長

朝香 等

西宮マリナパークシティ協議会 副会長



Commentator

澤田 雅浩

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授



場所：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
西館 1F ガイダンスルーム 2 (無料ゾーン)

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2
<https://www.dri.ne.jp/>

参加方法：web フォームからお申し込みください (先着順)。
URL <https://forms.gle/d6wJsFyntwVrHwco8>



定員：30 名

参加費：無料

(なお、入館料が不要な無料ゾーンでの実施のため、当イベントへの参加のみでは、
当センター駐車場の割引サービスは適用されません。あらかじめご承諾ください。詳しくは公式サイトでご確認ください。)

実施形態：対面開催 (後日、アーカイブ動画を配信予定)

主催：
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

協力：
各登壇者所属の協議会
兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科

お問い合わせ：メール event@hitobou.com

企画展「神戸ポーアイ 45 年 夢・震災・未来 今こそ学ぶ人工島」 西館 2F (有料ゾーン) で開催中！

企画展

神戸ポーアイ45年

夢・震災・未来
今こそ学ぶ人工島

2026 6.16-10.25

How lovely! Port Island!

この島に
すべてがある。



阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター

2026.9.13

Program

「マンションのまちの防災まちづくり」 パネル&ミーティング

イントロダクション 挨拶：人と防災未来センター

人工島の造成

part-1

振り返る 45 年 —— ポートアイランドの成立と歩み、震災から現在へ

- 1：ボーアイの開発からまちびらき「ポートピア 81」まで
 - 2：ポートアイランドにおける阪神・淡路大震災から現在まで
- プレゼンテーション：人と防災未来センター 震災資料専門員
熟美保子、福嶋純之

ポートアイランドに
整備された市営住宅
1987(昭和52)年12月
所蔵：神戸市歴史公文書館

part-2

神戸からの考察・共有「マンション防災・まちづくりの進め方」

基調プレゼンテーション

「港島地区防災対策委員会の取り組みと現在」

高柳 章二 氏 神戸市中央区港島自治連合協議会 港島地区防災対策委員会 委員長

事例紹介プレゼンテーション

各地区・マンション協議会の取り組みと課題

門脇 龍三 氏 神戸市灘区 なぎさふれあいのまちづくり協議会 委員長 (HAT 神戸)

朝香 等 氏 西宮マリナパークシティ協議会 副会長

ディスカッション

共通課題の確認、取り組みの深掘り、今後に向けた意見交換

総評・まとめ

澤田 雅浩 氏 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授

進行(予定) 平林 英二 人と防災未来センター 企画ディレクター

1995.1.17
阪神・淡路大震災における
液状化などの被害

2024年、耐震化を実現したマンション
「ポートアイランド住宅」

企画に あたって

人と防災未来センターでは現在、ポートアイランドをテーマとする企画展「神戸ボーアイ 45 年 夢・震災・未来 今こそ学ぶ人工島」を開催しています(会期:10月25日まで)。本展第3章では、現在のポートアイランドにおける、防災を含む住民主体のまちづくりの取り組みを紹介しています。本企画は、その関連イベントとして開催するものです。

戸建て住宅がなく、住民のすべてが大規模公営住宅やマンション等の集合住宅に暮らすポートアイランドは、都市型の防災・減災を考えるうえで特徴的な地域です。31 年前の阪神・淡路大震災では、人工島ならではの被害や生活上の困難を経験しました。その経験を踏まえながら、現在に至るまで住民によるさまざまな防災・まちづくりの取り組みが続けられています。

本イベントでは、ポートアイランドをはじめ、神戸・阪神地域における集合住宅を核とする地域における「マンション防災」「マンションまちづくり」の実践事例を共有し、マンション等の集合住宅における防災・減災を進めるうえでの課題を明らかにします。さらに、それぞれの地域で蓄積されてきた経験や工夫をもとに、課題を乗り越えるための具体的な方策と、今後求められる取り組みについて考えます。

これらの議論を通して、阪神・淡路大震災から 31 年を経た現在の到達点と課題を確認するとともに、全国各地のマンション・集合住宅で防災と地域コミュニティの形成に取り組む方々に、実践に活かせる知見と学びを共有することを目指します。



阪神・淡路大震災記念

人と防災未来センター